

野洲駅南口周辺整備特別委員会資料  
令和8年7月6日  
政策調整部 やす未来創造課



# 目次・資料構成

1. 野洲駅南口周辺整備基本計画の策定に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
  - 1-1. 支援業務委託の概要
  - 1-2. 基本計画策定における方針及び検討優先度
  - 1-3. 実施予定の業務内容
  - 1-4. 今年度スケジュール
  
2. 社会実験の開催結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
  - 2-1. 社会実験の開催概要
  - 2-2. 社会実験期間の様子
  - 2-3. 検証結果の概要
  - 2-4. 検証結果の簡易分析
  - 2-5. 社会実験を通して見えた課題
  - 2-6. 今後の検証結果の活用方針

# 1.野洲駅南口周辺整備基本計画の策定に向けて

# 1-1. 支援業務委託の概要

令和7年度に改訂した野洲駅南口周辺整備構想に基づき、詳細な施設計画及び収支計画等を含めた検討を進めるために、基本計画の策定に着手しました。

検討にあたっては、業務範囲が多岐にわたることから、専門的知見を有する事業者による包括的な支援を受けるため、公募型プロポーザルにより支援事業者を選定し、以下のとおり、契約を締結しております。

## 委託業務の概要

- 業務名称 : 野洲駅南口周辺整備基本計画策定業務
- 契約期間 : 令和8年5月29日から令和9年3月31日まで
- 委託先 : 合同会社デロイトトーマツ(東京都千代田区)
- 委託金額 : 49,000,000円(消費税含む)
- 業務内容 : ①施設計画の検討、②事業スキームの比較検討、③概算事業費・資金調達手法の検討、④事業スケジュールの検討、⑤民間事業者ヒアリング、⑥市民向け説明・有識者委員会等の運営支援、⑦情報発信の支援、⑧基本計画案の作成



## 1-2. 基本計画策定における方針及び検討優先度

整備対象エリア内の市有地をAからEのブロックに分けて検討しています。基本計画では、各ブロックの具体的な整備や運営計画を検討し、今後の配置機能などの方向性を定めます。

隣接する全てのブロックを一体的かつ効果的に活用することを目指し、整備構想及び市の状況を踏まえ、以下の方針及び検討優先度に基づいて各業務を実施します。

各ブロックの方針及び検討優先度

高	Dブロック	<ul style="list-style-type: none"><li>「活性化ゾーン」で最も面積が大きく、「新たな交流や活動を生み滞留・滞在につながる施設を整備」するとしており、特に重要度が高いと考えられる。「文化ホール大規模改修」、「エンターテインメントアリーナ整備」、「企業オフィス誘致」の3案から絞り込む検討が必要で、地区全体の方針へ与える影響が大きいことから優先的に検討が必要となります。</li><li>比較的大規模な施設整備が想定されるため、資金調達手法を含む事業スキーム検討により事業の実現可能性を検討します。</li></ul>
	Aブロック	<ul style="list-style-type: none"><li>市民広場整備を想定しており、社会実験などで暫定活用しているものの、既存施設がないため、他ブロックと比較して整備着手のハードルが低いと考えられるため、早期に整備する可能性も含めて検討します。</li></ul>
低	B、C、Eブロック	<ul style="list-style-type: none"><li>駅の利便性向上やDブロックの機能の補完といった役割を負っていることから、地区全体で事業の効果や実現可能性を高めるためには、優先的に行うD、Aブロックの検討経過を踏まえて、適切な機能や整備方針を検討します。</li></ul>



上記の方針及び検討優先度を踏まえ、実現に向けたシナリオ構築のため、具体的な整備方針や施設計画等を作成のうえ、概算事業費や資金調達手法、事業スキームの比較検討等を行い、基本計画の策定を行う。

### < 想定実施業務 >

- 施設計画の検討
- 事業スキームの比較検討
- 概算事業費・資金調達手法の検討
- 事業スケジュールの検討
- 民間事業者ヒアリング
- 市民向け説明、有識者委員会等の開催
- 情報発信
- 基本計画の作成

# 1-3. 実施予定の業務内容

業務項目		概要
(1) 施設計画の検討		
	Dブロックのアリーナ及び企業オフィス検討	「エンターテインメントアリーナ整備」、「企業オフィス誘致」それぞれの場合に、Dブロック敷地に整備可能な規模を見定めるための、施設ボリューム検討を行う
	Aブロックの市民広場検討	別途行う社会実験も踏まえ、Aブロックに求められる機能を想定しつつ、広場と施設の配置計画を検討する
	B、C、Eブロックの施設計画検討	D、Aブロックの検討も踏まえ、事業における役割を想定しつつ施設に関して必要な検討を行う
(2) 事業スキームの比較検討		
	Dブロックの事業スキーム検討	3案における実現可能なスキームを検討する
	その他ブロックの事業スキーム検討	Aブロックをはじめとした各整備が実現可能なスキームを検討する
(3) 概算事業費、資金調達手法の検討		
	概算事業費の算定、事業収支計画の検討	整備や運営の収支を想定し、事業の実現可能性の確認や適切な費用分担の検討を行う
	資金調達手法の検討（交付金他）	活用が考えられる資金調達手法を調査し、必要な対応策を検討する
(4) 事業スケジュールの検討		
	工程表の作成	効果的な事業展開を想定し、各ブロックや地区全体の工程表を作成する
(5) 民間事業者ヒアリング		
	マーケットサウンディングの実施	上記検討を踏まえ、事業の実現可能性や民間事業者の参画意向を確認するための調査を行う
(6) 市民向け説明、有識者委員会等の開催		
	市民説明会等の開催	基本計画の策定や今後の各ブロックでの検討に向けて、市民説明会及び有識者による委員会等を開催方法等を含め検討する
(7) 情報発信		
	対外的な情報発信	当整備事業の進捗を市民等へ広く周知を図る目的で検討状況等の情報を発信する
(8) 基本計画の作成		
	基本計画作成	以上の検討等を踏まえ、各ブロックや地区全体の整備の方向性を定めた基本計画を作成する

# 1-4.今年度スケジュール

複数ブロックにわたる様々な視点での検討が必要となり、検討には一定時間を要する想定です。しかし、対外的な公表を早期に実施するためにも、7月から10月にかけて検討を集中的に進め、各ブロックでの事業方針を整理していきたいと考えています。その上で、民間事業者にヒアリングを実施し、関心度合を確認しながら基本計画を策定します。

業務内容	令和8年（2026年）								令和9年（2027年）		
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 施設計画の検討											
Dブロックのアリーナ及び企業オフィス検討		ボリューム検討（設計検討）			調整						
Aブロックの市民広場検討		機能・配置計画検討			調整						
B、C、Eブロックの施設計画検討				機能・ボリューム検討	調整						
(2) 事業スキームの比較検討											
Dブロックの事業スキーム検討				スキーム検討							
その他ブロックの事業スキーム検討				スキーム検討							
(3) 概算事業費、資金調達手法の検討											
概算事業費の算定、事業収支計画の検討				検討							
資金調達手法の検討（交付金他）				調査・検討							
(4) 事業スケジュールの検討											
工程表の作成				作成							
(5) 民間事業者ヒアリング											
マーケットサウンディングの実施							調査				
(6) 市民向け説明会、有識者委員会等の開催											
市民説明会等の開催				検討の進捗に応じて必要な会議等の計画・実施							
(7) 基本計画の作成											
基本計画作成									作成		

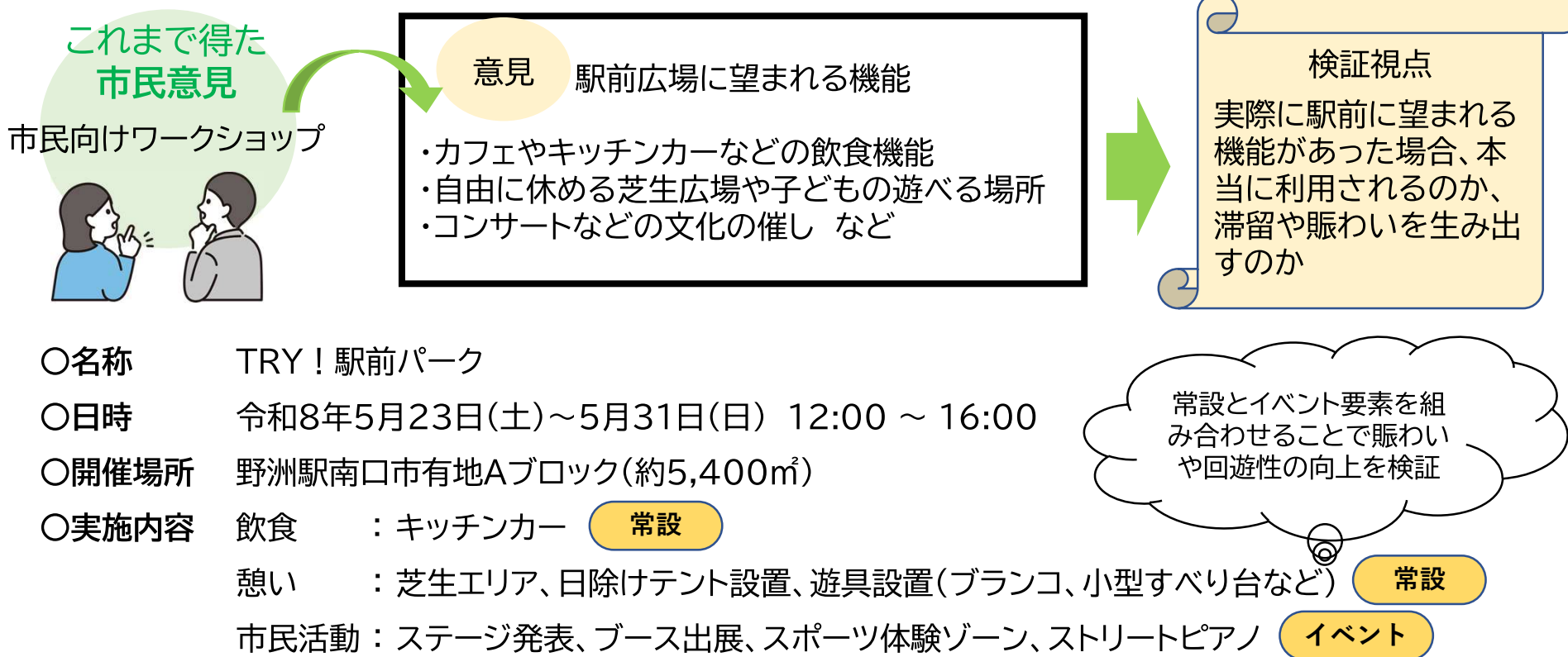
※情報発信については、検討の進捗状況を鑑みて適宜実施する。

## 2.社会実験の開催結果

## 2-1. 社会実験の開催概要

野洲駅南口周辺整備構想に位置付けされている市民広場整備を前提とした駅前空間の利用可能性や滞留機能を把握するとともに、今後の整備内容の検討に資することを目的として、5月に以下のとおり社会実験イベントを実施しました。

### 開催概要



## 2-2. 社会実験期間の様子



9日間継続的に開催しましたが、期間中には市内外から小さなお子様から高齢者の方まで幅広い世代の皆さまにご来場いただき、様々なコンテンツを体験いただきました。

## 2-3. 検証結果の概要

### 調査方法

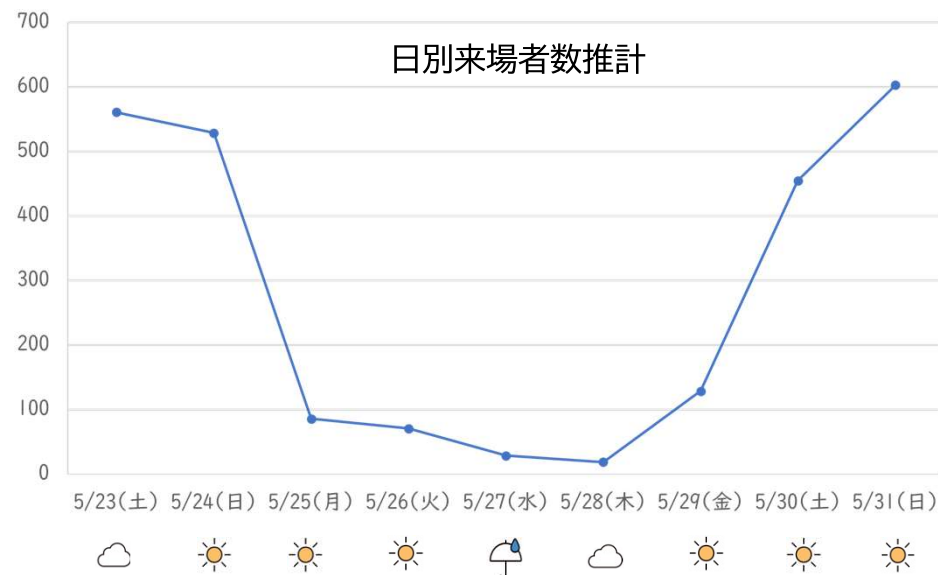
来場者に対しては、配置機能への所感やイベント内容に関するWEBアンケート、パネルアンケートを実施した。WEBアンケートは会場内で来場者にアンケートフォームの二次元コードが記載されたチラシを配布し、後日回答の集計を行った。その他、キッチンカー出店者に対しては、売上報告を求めるとともに会場内の定点観測による滞留者の計測を行いました。

### 定点観測から見る検証結果の概要

推計来場者数は、イベント内容が充実していた日や休日に多くなる傾向が見られました。

平日は想定のとおり、駅前の人の流れが少なく、また加えて実施コンテンツが少なかったこと及び雨天の状況もあったことから、来場者数の減少に影響した可能性があります。

来場者数は実施コンテンツの数に比例して増えており、その結果として人が集まり、にぎわいが可視化されたことも休日に来場者が増加した影響があると想定されます。



※会場での定点観測での滞留者数とWEBアンケートから算定した平均滞在時間から来場者数を推計

## 2-3. 検証結果の概要

### WEBアンケートから見る検証結果の概要

WEBアンケート回答数 263件

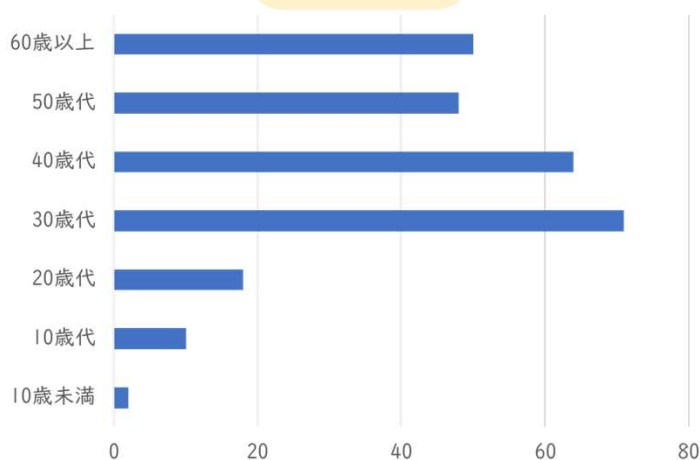
#### 来場者属性に関する質問

##### お住まい

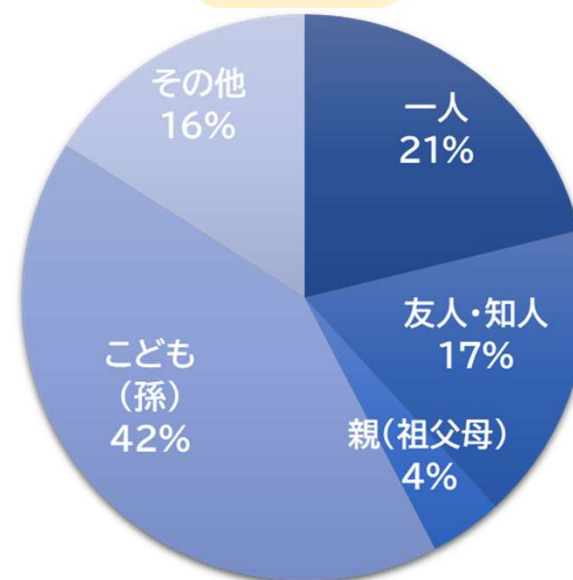
(選択式)

市内在住	201名
市外在住だが、日常的に野洲市に来ている	15名
市外在住だが、たまに野洲市に来ている	28名
市外在住で、ほとんど野洲市に来ない	19名

##### 年齢層



##### 同伴者



WEBアンケートの結果から来場者は、市内在住者が7割以上を占め、幅広い年齢層でありました。また、来場時の同伴者を確認すると、メインターゲットとしていた子ども連れの親子での来場が半数近くを占めており、コンテンツ選定などが影響していると考えられます。

## 2-3. 検証結果の概要

### WEBアンケートから見る検証結果の概要

#### 市民広場に求められる機能に関する質問

Q イベントを通して、広場があるとよいと感じたもの

ランキング形式

憩いの場となる機能 第1位 143件、第2位 88件、第3位 32件  
飲食機能 第1位 90件、第2位 100件、第3位 73件  
市民活動ができる機能 第1位 30件、第2位 75件、第3位 158件

Q 市民広場の整備に期待していることは何ですか

選択式(最大3つ選択可)

第1位 多世代が集まりにぎわいが生まれること 137件  
第2位 安全で安心して使える広場ができること 131件  
第3位 緑など自然豊かな広場ができること 113件

Q どのような飲食機能があればよいですか

選択式(複数選択可)

第1位 飲食店 174件  
第2位 キッチンカー 145件  
第3位 その他 34件



Q 憩いの場としてどのように使えるとよいですか

選択式(複数選択可)

第1位 屋根の下で過ごしたい 181件  
第2位 ベンチに腰を下ろして休憩したい 154件  
第3位 芝生の上に腰を下ろしてのんびりしたい 128件

Q どのような市民活動ができるよいですか

選択式(複数選択可)

第1位 文化活動をしたい、または鑑賞したい 147件  
第2位 スポーツなど運動を楽しみたい 109件  
第3位 交流活動を開きたい、または参加したい 96件

Q 社会実験を通して感じたこと

選択式(複数選択可)

第1位 市民広場に興味がわいた/  
できあがるのが楽しみになった 141件  
第2位 イベント自体が楽しめるものだった 124件  
第3位 その他 68件

## 2-3. 検証結果の概要

### パネルアンケートから見る検証結果の概要

パネルアンケート回答数 743件

#### 市民広場に求められる機能に関する質問

Q たべる(どのような飲食機能があればよいですか)

第1位	レストラン・カフェ (飲食店)	126件
第2位	キッチンカー	65件

Q やすむ・あそぶ(憩いの場としてどのように使えるとよいですか)

第1位	遊具	89件
第2位	屋根	76件
第3位	芝生、広い遊び場	51件

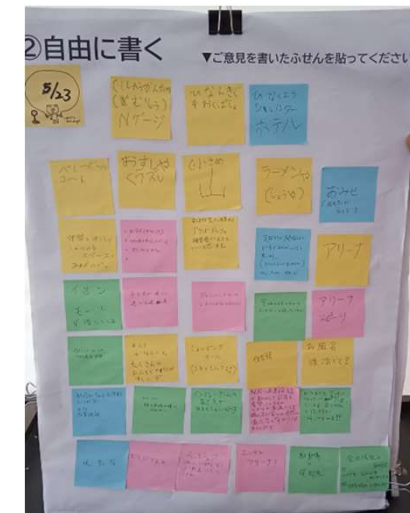
Q たのしむ(どのような市民活動ができるよいですか)

第1位	スポーツ	104件
第2位	文化活動	75件
第3位	交流活動	45件

WEBアンケートと比較しても大きく結果には変化はないが、回答者の属性がWEBアンケートに比べ、小学生以下の小さなおこさまが多かったこともあり、遊具やスポーツが望まれる結果となりました。



パネルアンケートの様子(一部)



自由記述の様子(一部)

## 2-4. 検証結果の簡易分析

社会実験イベントを通じた調査結果を基に分析を行っています。

滞在性	(仮説) 3つの機能(飲食、憩い、市民活動)を配置することで、来場者が一定時間とどまり、広場で過ごす時間が増えるのではないかと?
	(分析) 30分以上の滞在は、単なる通過ではなく、休憩や飲食など広場で過ごす時間とみなせることから、6割以上が30分以上滞在していた点は、駅前広場に <b>人が滞留する可能性</b> が感じられる
回遊性	(仮説) ステージ、ブース出展、体験コンテンツ等を組み合わせることで、場内を回遊し、複数エリアや催しを行き来するのではないかと?
	(分析) 体験されたコンテンツの選択数がアンケート回答者の2倍以上となっていることから、多くの方が <b>複数機能を体験され、会場内で人が行き来する流れが生まれた</b> と想定される
市民参加性	(仮説) 広場運営に市民が主体的に関わる可能性があるのか?
	(分析) 主催側から声掛けを行い、多くの市民活動団体や民間企業による協力を得られ、またコンテンツの実施にあたって自ら主体的に必要な機材など準備いただけた団体も多かったため、整備後の活用においても <b>主体的な関与の可能性</b> がある
飲食機能 需要	(仮説) 駅前の立地では飲食需要があるのではないかと?
	(分析) 飲食機能が不要との声は1割未満にとどまり、加えて飲食機能として持続可能と思われる一定の売上があった店舗も確認できたことから、 <b>一定の飲食需要が想定</b> される
求められる 機能	(仮説) これまでの市民意見から飲食、憩い、市民活動の機能が求められるのではないかと?
	(分析) これまでの市民意見からの仮説のとおり、 <b>飲食機能及び憩いの場を求めるニーズが比較的高い</b>

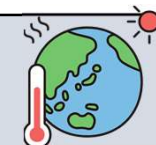
## 2-5. 社会実験を通して見えた課題

社会実験の検証結果や開催期間中の様子から、滞在需要や飲食需要などの可能性が確認できた一方で、基本計画策定や秋のイベント開催に向けて、整理すべき課題も見えてきました。

### ① 快適に滞在できる環境の提供

暑熱対策や雨天対応など、屋外でも長く過ごしやすい環境整備の必要性

【主な意見】「屋根のあるスペース」、「風除けが欲しい」、「ミストシャワーがあれば嬉しい」など



### ② 平日も含めた日常利用のための機能整理

気軽に立ち寄れるよう日常的な利用機能の充実が必要

【主な意見】「駅からの帰りに利用できるお店がほしい」、「電車の待ち時間にも使える施設」など

### ③ 世代ごとのニーズを捉えた機能構成の整理

同じ機能でも世代によってニーズが異なってくることを踏まえ、バランスのとれた機能整理が求められる  
(憩いとなる場でも子育て世代は「子どもが遊べる遊具やスペース」を一定求められるが、高齢者世代だと屋根やベンチが大部分を占めるなど)

### ④ 日常の居場所とイベントの場の両立

日常的に普段使いできる場とイベントで人が集まることの両面を想定した機能配置が必要(常設や可変式の検討など)

【主な意見】「普段は休める広場として、時々イベントがあるとよい」、「市民の交流の場になればいい」など

### ⑤ 運営、周辺環境への配慮

騒音や駐車、近隣調整など、継続運営に向けたルール整理が必要

【主な意見】「音が大きすぎる」、「駐車場は必須」、「ゴミ箱を設置してほしい」など



## 2-6. 今後の検証結果の活用方針

社会実験で得られた知見や情報を、今後の検討に広く活用し、より魅力的で持続可能な整備に繋げてまいります。また、社会実験イベントについては、秋にも開催予定のため、より効果的な実験となるよう検討を行います。

